



平成 23 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 ひまわりホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山 地 一 郎
(JASDAQ・コード番号 8738)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 寺 田 義 秋
電 話 0 3 - 5 4 0 0 - 4 1 3 3
U R L <http://www.himawari-group.co.jp/>

連結子会社における債権の取立不能のおそれに関するお知らせ

当社連結子会社のひまわり証券株式会社において、債権の取立不能のおそれが発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 発生した事実の概要

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震後の国内株式相場の急落等に伴い、連結子会社ひまわり証券株式会社において、株価指数先物・オプション取引顧客について決済損に対する不足金が約 80 億円発生いたしました。

2. 不足金の発生に対する対応

今般の不足金の発生に対応するため、当社グループでは、取引銀行からの融資により本日まで 80 億円を調達しております。

また、ひまわり証券では本日付で、当社を引受先とする 23 億円の第三者割当増資を実施するとともに、不足金が生じた該当顧客に対する債権を当社に譲渡し、これらによりひまわり証券の純資産額及び自己資本規制比率に影響はなく、同社の事業運営に支障はありません。

なお、平成 23 年 3 月 17 日付「当社連結子会社の一部事業（証券事業）の廃止に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、ひまわり証券では、証券事業からの撤退を決定し、すでに証券取引に係る新規の口座開設及び新規注文の受注を停止しております。

ひまわり証券では、今後、黒字部門である F X 事業に注力し、業績の向上にまい進していく所存です。

3. 当社の業績に与える影響

上記不足金額につきましては、現在、該当顧客からの回収に向けての専門部署を組織し、弁護士の指導のもと鋭意回収作業に努めておりますが、速やかに入金されない不足金残高については、今後の回収可能性を個別に勘案し、平成 23 年 3 月期の連結決算において貸倒引当金繰入による損失計上を行う見込みです。

以上